



有限会社元祖鰻もなか本店

専務取締役 KENJI FURUTA

古田 憲司さん

時代に即したアプローチで、 100年超の歴史を守る

明治からの伝統を守る

当社は明治40年に伏見の御園通で和菓子店として創業後、戦争により現在の場所へ移転しました。先代が洋菓子の製造を開始し、現在は土産菓子を駅構内の売店などに卸すとともに、店舗では和洋菓子も販売しています。

看板商品は「元祖鰻もなか」で、大正10年から販売している100年を超える歴史と、名古屋城の金鯱を模

した見た目の愛らしさが特徴です。金鯱のミニチュアのようなリアルなお菓子は、名古屋では唯一と自負しています。

私は結婚を機に妻の実家である当社の経営に携わりはじめましたが、体力的に大変な仕事であることや新型コロナウイルスの影響も重なり、先代は自分の代で廃業するつもりだったようです。しかし、私は元祖鰻もなかにポテンシャルを感じ、時代に合ったアプローチをすれば立て直せると考えています。

コロナ禍に少しでも売り上げを確

保しようと、コロナ支援を目的としたSNS上の食品販売サイトに登録したところ、全国から多くの注文とお客

様からのあたたかい応援メッセージをいただきました。お客様の声が先代の目にも留まり、最終的には事業承継を認めてくれて、2021年に妻が代表取締役に、私が専務取締役に就任しました。

地道なSNS戦略で 種をまき、 チャンスをつかむ

事業を継いだ当初は、お土産として一定の需要はあったものの、地元の方や若者の認知度は低く、商品のポテンシャルを活かし切れていない状態でした。そのため、ほとんど閲覧されていなかったHPとECサイトを大幅にリニューアル、SNSも新たに始めました。特にInstagramでは、ペルソナの設定や投稿内容の統一感などを専門家とも相談しながら戦略的に投稿しています。

また、異業種とのコラボレーションにも積極的に取り組んでいます。例えば、昨年秋季に実施したスガキヤとのコラボレーション「スガキヤwith」では、当社とのコラボ商品「鰻もなかぜんざいパフェ」をスガキヤ各店舗で期間限定で販売していただきました。コラボ企画を通して、普段和菓子との



ファンの方からのプレゼントやコラボレーションした方のグッズを、本店に飾っています(写真上)。「名古屋らしさ」が当社商品の魅力のひとつ。元祖鰻もなか以外にも、「鰻フレンド」など、金鯱をかたどったお菓子を多く販売しています(写真右下・左下)。

元祖鰻もなかを 「名古屋の定番」に するために

今後は、インターネット上の仮想空間で出店・販売ができるメタバースへの参入も視野に入れています。現在の利用者数はまだ少ないものの、いずれ一般的な販路となると予想しています。

また、当社商品のモチーフにしている名古屋城の「金鯱」の魅力についても、今後、地域内外へ発信する機会を持ちたいと考えています。地元の方が金鯱を身近なものとして愛し、地域に誇りを持つきっかけとなることや、観光客の旅行の目的のひとつとして人気になることは、当地をより活気づけることにつながると思います。

金鯱モチーフの元祖鰻もなかが「名古屋の定番土産」として、より多くの方の旅の思い出に残るような商品となるよう、これからも様々な取り組みを行なっていきます。

Column

＼ 注目のトピックス /

元祖鰻もなか本店 カプセルトイ



2024年12月から、「元祖鰻もなか本店」のカプセルトイを発売しています。「元祖鰻もなか」など、本物そっくりなお菓子のミニチュアポールチェーンです。店舗のほか、全国の「ドリームカプセル」で販売中です。

Company Data | 会社概要



有限会社元祖鰻もなか本店

【創業】1906年
【所在地】名古屋市中区松原2-4-8
【TEL】052-321-1273
【URL】<https://shachimonaka.com/>
【事業内容】和洋菓子製造、販売

